

MUT



日南町防災訓練 災害に備えよう Ⅰ 0月5日(日)開催

今年は、「豪雨水害における逃げ遅れゼロの実現」を目指して訓練を行います。各自治会の訓練想定は次の通りです。



里・・安全確認と避難誘導

屋・・川の水位上昇による、孤立への対応

原・・水路の増水による周辺家屋の避難誘導

河・個別避難計画に基づく避難と全体への安全確認

上萩山・・安否確認・避難の啓発



多里地域では過去に災害による避難が必要な場面がありましたが、自宅にとどまる人が多い傾向です。

近年は急な大雨が増え、避難が遅れると危険です。避難は「まだ大丈夫」ではなく「今なら大丈夫」と早めの行動を心がけま しょう。テレビで「垂直避難を」と呼びかけられますが、これは、夜間など著しく避難が危険な時や警戒レベル5の緊急安全確保 の時のみです。特に1階部分のみ浸水する恐れがあるときに有効とされます。多里地域のような土砂災害が予想される場合は、

早めに安全なところに避難することをお勧めします。それでも「逃げ遅れて

しまったと思うときには、上階の山際より最も離れた場所での避難」という手段を 覚えておいてください。災害時には自衛消防団が安否確認を行います。 早めの避難に、ご協力をお願いします。

垂直避難は緊急手段 早め早めの避難を

















まち協発足20周年 記念ウィーク開催10月19日~25日

今年、多里まちづくり協議会は発足20周年を迎えます。これを記念して、10月19日から25日までの1週間、 「多里の火祭り」に続く第2弾イベントを開催します。まち協の歩みや多里の宝を紹介するプロジェクションマッピングを 上映予定です。ぜひ会場へお越しいただき、一緒に 20 周年を盛り上げましょう!!

地域文化祭も同時開催!









------*---*---*---*

- 10月19日(日)多里地域振興センター会場
- ★加工品・県民手帳販売 ★ボードゲーム・太鼓の達人などに挑戦!
- ★移動式プラネタリウム
- ★はんざけパネルシアター
- ★ヨガストレッチ
- ★地域おこし協力隊による美味しい喫茶コーナー
- ★自分の体調を知ろう!健康教室



★20周年目玉!★

プロジェワションマッピンヴ

~わたしたちの大好きな

多里を立体感溢れる映像で~



★喫茶コーナー



裏面へ G0→



毎日開催★作品展示

文化祭の作品大・大・大募集!!!

◎作品を出してください。(今回は10/25まで貸してください) 作品は、10/17までに多里地域振興センターへ (持参の難しい方は地域振興センターへお電話ください。84-0151)

日南の史跡を訪ねて~多里編~ 開催のお知らせ

10° 0' -0', 00° 0' -0', 00° 0' -0', 00° 0' -0', 00° 0' -0'

道端にたたずむ石造物、歴史を感じる建物、多里の魅力を再発見できる散策ツアー

○コース:多里地域振興センター→萩原→多里の街並み→常福寺→多里地域振興センター

※3km 程度の行程ですので、無理なく参加できます

○集合場所: 桜が瀬会館前駐車場 参加費: 100円

○定員: 先着15名

○日時:10月13日(月・祝) 9:30~12:00

○申込:日南町図書館まで 来館・電話・ファックスなど



まちづくり懇談会『みんなで支える日南病院の未来』のテーマで

10月16日(木) 18:30~ 多里地域振興センター

先日議会で町長から日南病院の建設について方針が発表されました。

今回は町長から地域の皆さんに説明があり、意見交換も予定されています。多くの方に是非ご参加いただきたいと思います。皆さんからのほかにテーマについてのご意見・ご質問は、その場での回答ができない場合もありますことご了承ください。

望遠鏡で観る星の中で、一番人気といえばやはり「土星」です。その大きさは直径だけで地球の9倍あり、 特徴でもある輪を含めると20倍にもなる巨大な惑星です。しかし、そのシンボルとも言える「土星の環」が 今年消失してしまうという事をご存知でしょうか。とはいえ、本当に消滅してしまうのではなく「地球から 見えなくなる」というのが実態なのです。地球と同じように土星も傾いた状態で太陽の周りを回っています。 地球は1周するのに1年ですが、土星はずっと遠い位置を回っているので1周するのに30年ほどかかっ ています。そうすると、地球から見える土星の傾きは毎年変わってゆき15年に1回、土星の輪を真横に見る ようになります。地球の20倍もの直径がある土星の環ですが、厚さは数メートルから100メートルほどしか

実際に見えなくなるのは数日間程度で、その前後は薄っすらと線状に見えてきます。今年の11月25日頃にはほぼ見えなくなると予測されており、今現在は土星に串が刺さっているような「土星団子」状態が見れます。10月4日には観望会イベントを予定しているので、15年に一度の巨大団子を観に来てくださいね。

ありません。それが遥か12~16億キロメートルも先にあるのですから見えなくなるのも頷けます。



